

かしらとしてのキリストを尊び、神聖で奥義的な領域の中に生きる

聖書：エペソ1:22-23. コロサイ1:18. 2:19. ガラテヤ3:14.

ローマ8:9. II コリント3:17-18

I. わたしたちはかしらとしてのキリストに結び付くことによって、からだの唯一のかしらとしてのキリストを尊ぶ必要があります——エペソ1:22-23.

コロサイ1:18. 2:19:

- A. キリストの昇天において、神は彼を宇宙のかしらに就任させました。全宇宙のかしらはイエスです——使徒2:36. エペソ1:22-23. ピリピ2:9-11。
- B. かしらは権威の事柄です。キリストがかしらであるとは、彼がからだの中で権威を持っているという意味です——マタイ28:18:
  - 1. かしらに結び付くとは、キリストだけがかしらであるという意味です。かしらに結び付くとは、絶対的にかしらの権威の下に服することです——エペソ4:15。
  - 2. かしらとしてのキリストを尊ぶことは、他のすべてのかしらを拒絶することです。
  - 3. すべての肢体の地位は、かしらに結び付き、すべての事で彼を唯一の絶対的な権威とすることです——コロサイ1:18. 2:19。
  - 4. キリストはからだのかしらです。彼が完全に支配しているときのみ、命は自由にわたしたちへと流れることができます——啓22:1。
  - 5. からだがかしらに結び付くことの意味は、からだが自分自身をかしらから分離させないことです——コロサイ2:19。
- C. からだは、かしらの伝達から存在するようになります。神聖な命と神聖な性質の中で、からだはかしらと一です——エペソ1:22-23。
- D. からだの肢体はかしらに結び付くことを通して、組み合わされ、からだの生活をするようになります——4:15-16. コロサイ2:19:
  - 1. わたしたちとかしらとの関係が、わたしたちと他の肢体との関係を決定します。わたしたちと彼との共通の関係が、わたしたちに互いに関係を持たせます。
  - 2. わたしたちがかしらに結び付かないとき、わたしたちの交わりは無効になります。わたしたちの交わりの根拠は、わたしたちが相互にかし

らに結び付くことです——使徒2:42。 Iヨハネ1:3。

3. わたしたち互いの間には、直接的な交流はありません。それはすべてかしらを通してです——コロサイ1:18:

a. 党派をくむことの意味は、数名のクリスチャンが互いに直接的な関係を持って、かしの權威から離れることです。彼らは互いに直接的な交流を持ちますが、彼らの交流はかしらを経過していません。

b. かしの指示の下になれば、わたしたちは別の肢体との関係において行動してはなりません。

4. わたしたちはからだの生活をするために、かしの下において、かしらを命、主体、中心としなければなりません——エペソ4:15-16:

a. からだの生活をするために、わたしたちの考える事や行なう事は何であれ、かしらとしてのキリストの支配の下になければなりません。わたしたちは彼をわたしたちの全存在の中心としなければなりません。

b. わたしたちはすべての肢体と組み合わされて、かしらを表現する生活をしなければなりません——ローマ12:5。

E. わたしたちは、かしらであるキリストを恐れつつ、互いに服従し合う必要があります——エペソ5:21, 23:

1. 互いに服従し合わないことは、かしらとしてのキリストに対して罪を得ることであり、またわたしたちがキリストの頭首権を畏れていないことを意味します——23節。 1:22。

2. 実は、互いに服従し合わないことは、かしらに対する反逆です。

3. かしらだけが優越しています。また、かしらだけが独特で、からだとは別であるべきです。どの肢体も、特別な階級や超越した階級にはありません。

**II. わたしたちは、究極的に完成された霊と霊なるキリストという神聖で奥義的な領域の中で生きる必要があります——ガラテヤ3:14。 ローマ8:9。 IIコリント3:17-18:**

A. 三一の神ご自身が、神聖で奥義的な領域です。神聖な三一の三者は、自ら存在し、永遠に存在し、同時同存し、相互内在しています。こういうわけで、父、子、霊が、神聖で奥義的な領域です——ヨハネ14:10-11。 マタイ28:19。 IIコリント13:14。

B. わたしたちが入る神聖で奥義的な領域とは、究極的に完成された霊と霊なるキリストという神聖で奥義的な領域です。わたしたちはこの領域の中で生きることを学ぶべきです——ピリピ1:19。 ローマ8:9。 IIコリン

ト13:14. ガラテヤ3:14。

- C. 神聖で奥義的な領域の中で、わたしたちは昇天したキリストの伝達と彼の天の務めの供給とを受けます——エペソ1:22. ヘブル8:1-2。
- D. 神聖で奥義的な領域の中で、わたしたちは神の有機的な救いを経験します——ローマ5:10。
- E. 神聖で奥義的な領域の中で、わたしたちは神聖な種族の領域である神の王国の中に生きます——ヨハネ3:3, 5。
- F. 神聖で奥義的な領域の中で、わたしたちは神聖な交わりの中に生きます。これが、キリストのからだの中に生きることの実際です——Iヨハネ1:3, 7. 使徒2:42. ローマ12:5。
- G. 神聖で奥義的な領域の中で、わたしたちは三一の神とミングリングされて、一を保ちます——ヨハネ17:21. エペソ4:3-6 :
  - 1. 真の一は、三一の神の中にあります——ヨハネ17:21 :
    - a. 信徒たちの真の一は、実は三一の神の一です。
    - b. 三一の神の中においてのみ、わたしたちは成就されて一となることができます——23節。
  - 2. 真の一は、信徒たちと三一の神とのミングリングです——エペソ3:14—4:6 :
    - a. わたしたちはこの一を持つために、神聖で奥義的な領域である三一の神の中にいなければなりません。
    - b. 究極的に完成された霊と霊なるキリストという神聖で奥義的な領域の中で、信徒たちは三一の神と一です——ガラテヤ3:14. ローマ8:9. IIコリント3:17-18。
- H. キリストのからだは、神聖で奥義的な領域の中にあります。わたしたちはキリストのからだの実際の中にいればいるほど、さらに神聖で奥義的な領域の中にいます——ローマ12:4-5. Iコリント12:12-13, 27. エペソ1:22-23. 4:16。
- I. わたしたちは神聖で奥義的な領域の中に生きようとするなら、この領域のビジョンを持ち、この領域を高く評価し、この領域に入ることを高いことと考え、その霊によって、また霊にしたがって歩き、魂と霊とを識別することを経験し、主と一つ霊になることを訓練する必要があります——ヨハネ3:3. エペソ1:17-18. 2:18. ガラテヤ5:16. ローマ8:4. ヘブル4:12. Iコリント6:17. IIテモテ1:7。